

「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて書く活動を通して、友達に伝えたいことを明確にする授業

第2学年1組 国語科学習指導案

指導者 日高 美樹

1. 単元名 「クラスのおもしろずかん」をつくろう

2. 学習材 「おもしろいもの、見つけたよ」(教育出版 ひろがる言葉 2年国語上)

3. 単元について

(1) 本単元でつけたい力

本単元では、主に、小学校学習指導要領・国語〔第1学年及び第2学年〕の「知識及び技能」・「B書くこと」における以下の能力を身に付けさせることをねらいとしている。

知識及び技能

内容 オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

B 書くこと

内容 ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。

言語活動例 ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。

本単元は、身のまわりにある「おもしろいもの」について様子を観察し、友達に伝わるように詳しく文章で表現する学習である。自分の身の回りや日常生活の中で「おもしろい」と感じたものの様子をメモに書き、集めた情報をまとめ文章で表現できるようにすることをねらいとしている。

(2) 単元の目標

【知識及び技能】

○「おもしろいもの」の様子について身近なことを表す語句を使い、表現することができる。

(1 (1) オ)・・・^知

【思考力、判断力、表現力等】

○「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて、文章を書くことができる。

(2 B (1) ウ)・・・^思

○書いた文章を友達と読み、感想を伝え合う活動を通して、自分の文章の内容や表現のよいところに気付くことができる。

(2 B (1) オ)・・・^思

【学びに向かう力、人間性等】

○「おもしろずかん」をつくって、友達に紹介するために、自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとする。

・・・^主

(3) 指導観

[見出す]

□本単元(本時等)の目標(めあて・ねらい)を子どもに明示する。

①単元の目標を知り、学習の見通しをもつことで主体的に学習する態度を引き出す。

本単元の導入では、教師作成のモデル「おもしろずかん」を提示する。モデルでは、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりで文章が構成されていることや、観察した「おもしろいもの」の様子が『五感』(目・鼻・耳・手・味) + 気持ちの観点から色々な語句で表現されていることなど教師がどのようなことを工夫して作成したのかについて気付かせていく。教師が作成したモデルを分析することで、子どもたちの「自分も書いてみたい」という学習意欲の向上に繋げていきたい。また、子どもたちとつくった学習計画や身近なことを表す語句を掲示したりすることで、「おもしろずかん」を作成するという単元

の見通しを子どもたちがもち、主体的な学びに繋げていきたい。

[自分で取り組む]

□子どもが自ら情報を収集し調べるができるように、環境等を用意する。

②教室の後方に教師が見つけた「おもしろいもの」コーナーを置いたり、「おもしろいもの」探しをして「おもしろいもの」に触れる環境をつくる。

本単元に入る前に、教室の後方に「先生が見つけた『おもしろいもの』コーナー」をつくり、「おもしろいもの」に触れる環境をつくる。また、本単元の1・2時間目に「おもしろいもの」探しの時間を設ける。実際に「おもしろいもの」に触ることで、「おもしろいもの」とは何かを考え、色々な角度から見ると見方や感じ方が違うということに気付かせていく。

□子どもが「見方・考え方」を働きながら課題に取り組むができるように、取り組むときの視点や思考の進め方を指導する。

③組み立て表の色を変え、付箋を組み立て表と同じ色のところへ並べるように指導する。

組み立て表をつくる際に、「はじめ」(青)・「中」(黄色)・「おわり」(赤)で色を変えたものを使う。また、メモをする際も組み立て表の色と同じ色の付箋を使う。「はじめ」「中」「おわり」で色を変えることで、自分が「はじめ」「中」「おわり」のどの部分を書いているのかが分かり、区別のない文になってしまうのを防ぐことができる。そのため、組み立て表をつくる際には、組み立て表と同じ色の場所に同じ色の付箋を並べていくことを指導していく。

[広げ深める]

□子どもが多様な考えを理解できるように、互いに学び合う場面を設定する。

④『五感』(目・鼻・耳・手・味) + 気持ちマークを使う。

書いた文章を自分で読み返した後に、友達と『五感』(目・鼻・耳・手・味) + 気持ちマークをつけながら見直しを行っていく。マークを使うことで、観察したものの様子がどの観点から表現されているのか分かりやすい。また、文章に書きこむことで目で見て分かる。そのため、マークを使い自分では気付かない良い表現に気付かせていく。

□子どもが自分の考えを伝える場面を設定する。

⑤「おもしろずかん」を三人班で紹介し合い、感想や意見を交流することで考えを広める。

「おもしろずかん」が完成したら、三人班で紹介し合い、感想や意見を交流する。作成した「おもしろずかん」を友達に紹介することで、作品の良さや自分の思いを実感させていきたい。また、感想は付箋に書いて相手に渡す。もらった付箋をノートに貼っていき、読み返すことで、友達から新たな視点や考え方を学ぶ機会にする。

[まとめあげる]

□子どもが板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定する。

⑥国語日記を書き、学習について振り返る。

国語日記（わかったことや学習の中で工夫したことなど）を単元中に書かせていく。また、単元の最後には①「おもしろずかん」を作った感想②この学習を通して学んだことの2観点から振り返りを行う。そうすることで、自分の活動を客観的に振り返り、今後の学習に生かせるようにする。また、単元全体の振り返りを書かせることで、単元を通して自分ができるようになったことを実感させていきたい。

4. 全体指導計画（10時間扱い）

次	時	主な学習活動	○教師の支援 ☆評価（方法）
第一次	1	「おもしろいもの」とは何か考える。 ・1つのものを色々な角度から見ると、見方や感じ方が人それぞれであることに気付く。(発想のトレーニングを行う)	○同じものでも色々な角度や視点から考えると、見方や考え方方が違うことに気付かせる（生活科） ○見たり触ったりして、「おもしろいもの」のイメージをもたせる（生活科）
	2	「おもしろいもの」探しに行く。 ・中庭や校庭で「おもしろいもの」見つけをする。	

	3	<p>単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師モデル「おもしろずかん」の分析を行い、学習を進めるために必要なことを考える。 ・「中」の分析を行う。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルを提示し、本単元のゴールを伝える。 ○モデル分析しやすくするためにモデルを1人1冊配付し、さらにモニターに映す。☆モデル分析を通して学習を進めるために必要なことを考え、学習計画を立てようとしている。(④ノート)
第二次	4	<p>友達に教えたい「おもしろいもの」を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子を観察し、メモ（付箋）に書く。 <p>書いたメモを構成表に並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成表の色と付箋の色が同じか確認をしながら、構成表に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様子を表す語句を『五感』+気持ちマークを使いながらできているか、付箋の色を分けながらメモができているか、構成表の色と付箋の色が合っているか机間指導をしながら確認する。 ○様子を表す言葉が思いつかない子には、様子を表す語句の表を渡す。 ☆様子を表す語句を使って、くわしく表現しようとしている。(④メモ・ノート)
本時	5	<p>構成表を使い、文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりごとに紙の色を分けて文章を書く。 ・書いた文章を貼り合わせる。 ・絵を描く。（写真を貼る） 	<ul style="list-style-type: none"> ○構成表の色と紙の色が合っているか机間指導をする。 ☆「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて文章を書こうとしている。(④構成表・「おもしろずかん」)
6 7 8	6 7 8	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を観察し、メモ（付箋）に書く。 <p>書いたメモを構成表に並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成表の色と付箋の色が同じか確認をしながら、構成表に並べる。 <p>構成表を使い、文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりごとに紙の色を分けて文章を書く。 ・書いた文章を貼り合わせる。 ・絵を描く。（写真を貼る） 	<ul style="list-style-type: none"> ○様子を表す語句を『五感』（目・鼻・耳・手・味）+気持ちマークを使いながらできているか、付箋の色を分けながらメモができているか、構成表の色と付箋の色が合っているか机間指導をする。 ○2枚目、3枚目と書く子はどんどん書くように、じっくりやりたい子は丁寧に1枚を仕上げるように伝える。 ○構成表の色と紙の色が合っているか机間指導で確認する。 ☆様子を表す語句を使って、くわしく表現しようとしている。(④メモ・ノート) ☆「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて文章を書こうとしている。(④構成表・「おもしろずかん」)
	9	<p>書いた文章を読み返し、『五感』+気持ちマークを使いながら「中」の見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『五感』+気持ちマークを使いながら書いた文章を見直し、より良い書き方や表現に直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○『五感』+気持ちマークを使いながら見直しができているか机間指導で確認する。 ☆見直した文章をより良い書き方や表現にしようとしている。(④ノート)
	10	<p>3人班で「おもしろずかん」を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろずかん」を紹介し合う。 ・感想や意見を付箋に書いて、相手に渡す。もらった付箋はノートに貼る。 <p>学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①「おもしろずかん」を作った感想②この学習を通して学んだことの2観点から振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の「おもしろずかん」を聞きながら、良い表現や書き方を見つけるように指導する。 ☆書いた文章を読み返しながら、自分や友達の良い表現や書き方を見つけようとしている。(④ノート・付箋)

5.本時の指導（5／10）

(1) 目標 「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて、文章を書くことができる。

【思考力・判断力・表現力】 2B (1) ウ

(2) 展開

時配	学習活動と内容 ◎教師の発問・子どもの反応	○教師の支援 ☆評価（方法）
5	<p>1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 ◎構成表をつくったときにどんなことに注意したかな？ ・紙の色を分けてメモを書いた ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けた。</p>	<p>○学習計画を掲示し、前時までの学習を振り返りやすくする。 ○前時で作成した構成表を使うことに気付かせる。 ○構成表の色と同じ紙の色に文章を書くことを確認する。</p>
	組み立て表を使い、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて文章を書こう。	
5	<p>2. 文章の書き方を確認する。 ◎いい文章にするためのひみつって何だったっけ？ ・さわった感じを入れる。 ・様子を表す語句を入れる。 ・書き出しは1マス下げる。 ・構成表の色と同じ紙の色に文章を書くこと。</p>	<p>○さわった感じや様子を表す語句を使うことを確認する。 ○「はじめ」「中」「おわり」のそれぞれの書き出しは1マス下げる書くことを確認する。 ○『四感』+気持ちを使って書くことを意識させる。</p>
30	<p>3. 組み立て表を使って、文章を書く。 ・「はじめ」(青)・「中」(黄色)・「おわり」(赤)と色のついたマス目の紙にそれぞれ文章を書く。 ・書いた文章を台紙に貼り、絵を描く。(写真を貼る)</p>	<p>○机間指導をしながら、構成表の色と同じ紙の色に文章を書くことができているか確認をする。 ○「はじめ」(青)・「中」(黄色)・「おわり」(赤)と色のついたマス目の紙を用意して、前に並べておく。 ○1マス下げることが難しい子には、机間指導の際にシールをマス目に貼る。 ○書く手が止まっている子には、授業の中でどんなことを意識したのかを聞き、書けるように助言をする。 ☆「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気を付けて文章を書こうとしている。（<small>◎構成表・「おもしろずかん」</small>）</p>
5	<p>4. 国語日記を書く。 ◎今日の学習でどんなことを思いましたか？ ・「はじめ」「中」「おわり」に気を付けて書くことができた。 ・様子を表す語句を入れることができた。 ・組み立て表の色と同じ紙に書くことに注意して書くことができた。 ・次回は絵に入れるように頑張りたい。</p>	<p>○「中」を書くために考えたことや工夫して書いたことを思い起こさせる。 ○机間指導をしながら、自分の考えや思いを書けている子に声をかけ、称賛する。</p>